



大画面ディスプレイを搭載した自販機コンセプトモデルのご紹介

自販機に新しい風を吹き込むデジタルサイネージの世界

日本国内には、数多くの自販機が設置されています。自販機は、これまで非接触型 IC カード技術の採用をはじめ、時代に合わせた数々の進化を遂げてきました。そして、将来的に自販機のさらなる進化を支えるものとして期待されているのが「デジタルサイネージ」です。デジタルサイネージは、大型ディスプレイなどの表示機器を使用し、その場にいる視聴者に対して焦点を絞った情報を発信する次世代の広告媒体です。

デジタルサイネージは、より多くの視聴者の目に留まるように、できる限り目立つ場所に設置する必要があります。しかし、大型のサイネージ装置を新たな場所に設置することは容易ではありません。その一方、自販機は、既に多くの人々が通る場所に設置されているため、このス

ペースにデジタルサイネージ機能を搭載した新しい自販機を置くことで、自販機とデジタルサイネージ双方のメリットを最大限に引き出せます。

デジタルサイネージ機能を備えた自販機は、収益の向上や公共サービスへの貢献も期待できます。まず、自販機で販売している商品の広告を表示することにより、商品の売上げ向上につながります。また、その大画面を活かし、さまざまな広告コンテンツを待機中の時間に表示することで、新たな広告収入も得られます。さらに、地域密着の生活情報を表示することで、その地域に在住している人々の生活にも役立てられます。このように、自販機にデジタルサイネージ機能が搭載されれば、自販機に新たな可能性が生まれるのです。

自販機とデジタルサイネージを高い次元で融合させたコンセプトモデル

この新しいコンセプトモデルでは、最先端の設計を採用した自販機、インテル®アーキテクチャに基づく高性能プラットフォーム、株式会社ブイシンの次世代デジタルサイネージソリューション「adbo」を効果的に組み合わせ、自販機とデジタルサイネージを高い次元で融合させたコンセプトモデルです。自販機の前面には、タッチパネル対応の大型液晶ディスプレイが搭載され、販売商品のメニューや広告コンテンツが表示される仕組みとなっています。

この大型液晶ディスプレイには、美しいHD動画やFlashを駆使したリッチな広告コンテンツを表示できるため、通りがかった人の興味を強く引き込むことが可能です。また、本体に内蔵されたカメラを通じて、自販機の前に立った人の距離、その性別や年齢層などを判別する機能も備わっています。これにより、消費者の目線に立った商品販売や広告コンテンツの表示が可能になります。さらに、センター側には広告コンテンツの視聴者や商品購買者に関する情報（日時、性別、年齢層、購入商品）が送信され、その統計情報が今後の商品販売戦略や広告アプローチに役立てられます。



正面



側面

自販機の利便性向上と、より高い宣伝効果を生み出す 画期的なコンテンツ表示機能「スケールセル」&「マッチセル」

スケールセルは、自販機の内蔵カメラを利用して目の前に立つ人の距離を検出し、その距離に応じて適切なコンテンツを表示する機能です。例えば、通りがかった人に自販機の内容を知らせたり、近づいたら商品を表示するメニューに切り替えたりします。マッチセルは、近づいた人の性別や年齢層を識別し、条件に合わせたコンテンツを表示する機能です。マッチセルを利用することで、男性・女性、大人・子供それぞれに適したメニューの並べ方や表示位置などを自動的に選択できるようになります。

スケールセルとマッチセルでは、内蔵カメラから得られた高解像度画像を高度なアルゴリズムによって分析し、視聴者との距離、性別や年齢層などを素早く識別します。これらの分析作業には複雑な処理を必要としますが、このコンセプトモデルに搭載されているインテルの高性能プロセッサ（インテル® Core™ i7 プロセッサやインテル® Core™ i5 プロセッサ）によって、最大100人という大人数の同時認識と、1秒当たり5コマ以上という高頻度の識別を可能にしています。

自販機コンセプトモデルの動作説明

スケールセル

視聴者との距離を検出し、その距離に応じた適切なコンテンツを表示します。

通常時

顔認証範囲外

カメラ認証範囲



アイキャッチ・モード

通常時は通行者の興味喚起を目的としたコンテンツ、購買意欲喚起のためのCM等を表示します。

カメラ視認 近距離

カメラ認証範囲

近距離



自販機モード

利用者が近づくと自販機モードに移行します。

マッチセル

利用者の性別・年代を検出し、最適な表示モードに入ります。

性別、年代の判別

20~30代 女性



少年



利用者の視線

端末内蔵のカメラで利用者の性別・年代を判別し、ターゲットにマッチした商品を自動でオススメします。さらに、利用者の身長を考慮したコンテンツ表示を行います。

インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーによって 自販機のサイネージ機能をセンター側から確実に集中管理

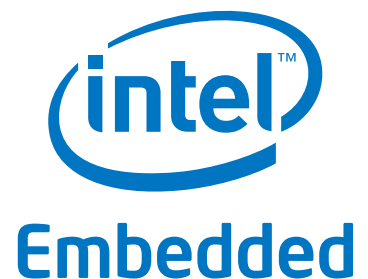
このコンセプトモデルは、全国のさまざまなロケーションに設置されることを想定しています。これらは、WiMAX* や 3G データ通信技術を通じてインターネットへと接続され、センター側による集中管理体制が敷かれます。センター側からの管理内容は、デジタルサイネージ機能の運用管理、広告コンテンツの視聴者や商品購買者の情報取得など、多岐にわたります。

従来では現場にスタッフを派遣しなければならなかった局面でも、このコンセプトモデルならほとんどの作業をセンター側からリモートで対応できるようになり、運用保守コストが削減されます。さらに、自販機の稼働率も上がり、商品販売と広告提供の双方においてサービス品質の向上が期待できます。

こうした数々の操作をセンター側から確実に実行できるようにするため、このコンセプトモデルでは、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー（インテル® AMT）が活用されています。インテル® AMT は、オペレーティング・システム（OS）の動作状態によらず、機器の電源操作やコンソール操作、HDD へのアクセスなどを実現する高度な運用管理技術です。

インテル株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル5階
www.intel.co.jp



*Intel、インテル、Intelロゴ、Intel Core、Core Insideは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
*その他の社名および商品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

本冊子は情報提供のみを目的としています。すべての情報は、明示、非明示にかかわらず、現状のまま提供されるにすぎず、何らの保証もいたしません。また本資料に含まれる情報の誤りや、それによって生じるいかなるトラブル（PCパーツの破損などを含むがこれらに限られない）に対しても一切の責任と補償義務を負いません。本冊子に掲載されている内容は、予告なく変更されることがあります。

株式会社ブイシンのソリューションおよびサービスは、インテルによって管理されているものではありません。そこで提供されている内容はインテルが特に保証しているものではないことをご了承ください。

©2010, Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。